

DynaEye 10 帳票 OCR Entry

推奨帳票サンプル定義 導入手順書

振替伝票（3）

1.0 版

株式会社 P F U

2020 年 10 月

■目次

はじめに.....	3
1. 動作環境	3
2. 対象帳票	4
3. 入出力仕様	5
3.1 スキャンパラメータ	5
3.2 認識データ出力.....	5
3.3 イメージ出力	6
4. 環境構築	7
4.1 ソフトウェアのインストール	7
4.2 定義セットの取り込み	7
4.3 スキャナ接続	10
4.4 スキャナ定義	11
4.5 出力定義の変更.....	13
5. 動作確認	14

はじめに

「推奨帳票サンプル定義」は、ヒサゴ社が販売する帳票を、DynaEye 10 帳票 OCR Entry を使って OCR するためのサンプル定義セットです。ヒサゴ社の帳票毎にサンプル定義をご用意しておりますので、対象帳票に合わせてご利用ください。

1. 動作環境

【PC】

OS	以下の 64bit 日本語版オペレーティングシステム Windows 10 Pro/Enterprise Creators Update 以降 Windows 10 Enterprise LTSC 2019
CPU	Intel®Core™ i5 1.6GHz 以上 第 6 世代以降 推奨 Intel® Core™i7 3.2GHz 以上 第 8 世代以降（モバイル向けを除く）
メモリ	8GB 以上（推奨 12GB 以上）
ハードディスク	1GB 以上
必須環境	Visual C++ 2017 再頒布可能パッケージ（※）

（※）AI 日本語手書き OCR オプションのインストール時にインストールされます。

【スキャナ】

富士通 fi シリーズ イメージスキャナ

※ A4 以上読取可能で ADF（自動原稿送り機構）を備えている機種

【ソフトウェア】

・OCR ソフトウェア :

DynaEye 10 帳票 OCR Entry V10.0L30

DynaEye 10 帳票 OCR Entry AI 日本語手書き OCR オプション

・スキャナドライバ :

PaperStream IP (TWAIN) 2.10.3 (32 ビット)

2. 対象帳票

推奨帳票サンプル定義では、ヒサゴ社が販売する帳票を対象とします。

●型番：3

: 読取位置

振替伝票

1 年 2 月 3 日 No. 4 番号

金額	借方勘定	摘要	貸方勘定	金額
5 借方金額01	6 借方勘定01	7 摘要01	8 貸方勘定01	9 貸方金額01
10 借方金額02	11 借方勘定02	12 摘要02	13 貸方勘定02	14 貸方金額02
15 借方金額03	16 借方勘定03	17 摘要03	18 貸方勘定03	19 貸方金額03
20 借方金額04	21 借方勘定04	22 摘要04	23 貸方勘定04	24 貸方金額04
25 借方金額05	26 借方勘定05	27 摘要05	28 貸方勘定05	29 貸方金額05
30 借方金額06	31 借方勘定06	32 摘要06	33 貸方勘定06	34 貸方金額06
35 借方合計	合 計			36 貸方合計

ヘルプを表示するには[F1]を押してください。 (193, 2) 1/2

3. 入出力仕様

3.1 スキャンパラメータ

用紙サイズ	カスタム ※
画像タイプ	二値白黒
解像度	300dpi
読取面	表面（片面）

（※） PaperStream IP で用紙サイズ「自動選択」を選んだ場合この設定になります。

詳細な設定内容については 4.4 スキャナ定義 をご参照ください。

3.2 認識データ出力

出力形式	CSV
文字コード	Shift-JIS
出力内容	イメージ出力ファイル名、認識結果
出力先フォルダ（※）	C:¥Users¥Public¥Documents
ファイル名（※）	output.csv

（※） 出力先フォルダ・ファイル名は変更可。

◆ 出力項目一覧

No.	フィールド名	サンプル	備考
—	—	PG000001.PDF	イメージ出力ファイル名 フィールドとの対応なし
1	年	2020	数字のみ
2	月	6	数字のみ
3	日	9	数字のみ
4	番号	81492	数字のみ
5	借方金額 01	10000	字種限定：-¥0123456789
6	借方勘定 01	売掛金	—
7	摘要 01	請求書発行	—
8	貸方勘定 01	売上	—
9	金額 01	10000	字種限定：-¥0123456789
10	借方金額 02	20000	以降「借方金額」～「金額」繰り返し
...
34	金額 06		字種限定：-¥0123456789
35	借方合計	41500	字種限定：-¥0123456789

4. 環境構築

4.1 ソフトウェアのインストール

「1. 動作環境」の【ソフトウェア】に記載のあるソフトウェア（DynaEye 10 帳票 OCR Entry、AI 日本語手書き OCR オプション、PaperStream IP）をインストールします。インストールの手順は各製品のマニュアルを参照してください。

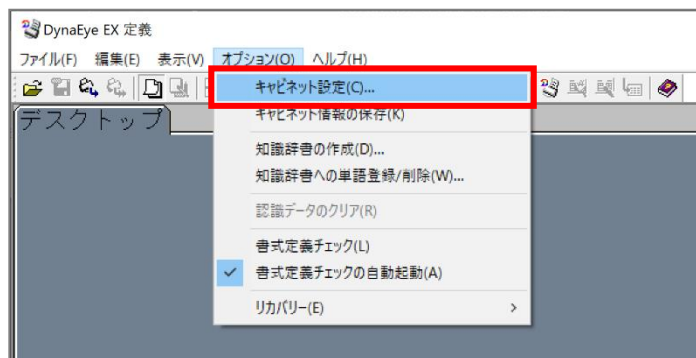
4.2 定義セットの取り込み

(1) キャビネット作成（作業スペースの作成）

- ① スタートメニューから、[DynaEye 10 標準アプリケーション]-[定義画面] を選択します。

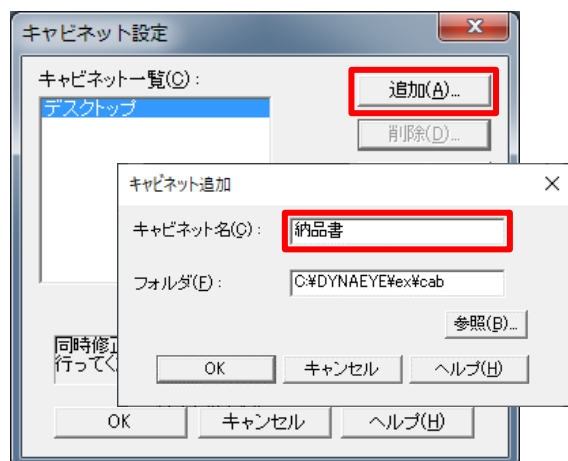
⇒ DynaEye 10 標準アプリケーションの定義画面が表示されます。

- ② [オプション]-[キャビネット設定]を選択します。



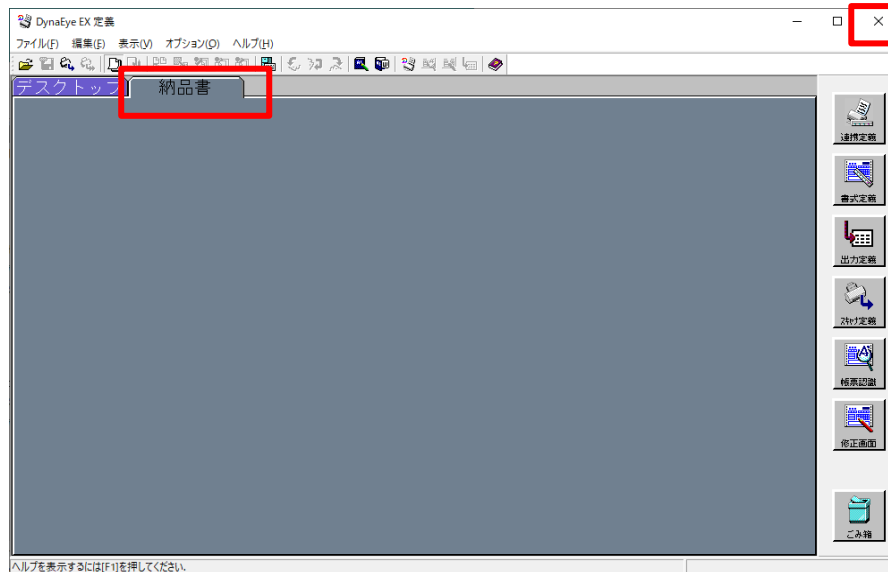
⇒ キャビネット設定ダイアログが表示されます。

- ③ [追加]ボタンを選択し、キャビネット追加ダイアログでキャビネット名（任意）を入力して[OK]ボタンを選択します。続けてキャビネット設定ダイアログの[OK]ボタンを選択します。



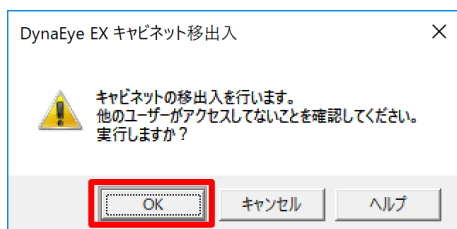
※ キャビネット名は自由に設定可能です。
今回は「納品書」として設定しています。

- ④ キャビネットが追加されたことを確認し、標準アプリケーションを終了します。



(2) キャビネット移入（定義ファイルの取り込み）

- ① スタートメニューから、[DynaEye 10 標準アプリケーション]-[キャビネット移出入] を選択します。
- ② [OK]ボタンを選択します。

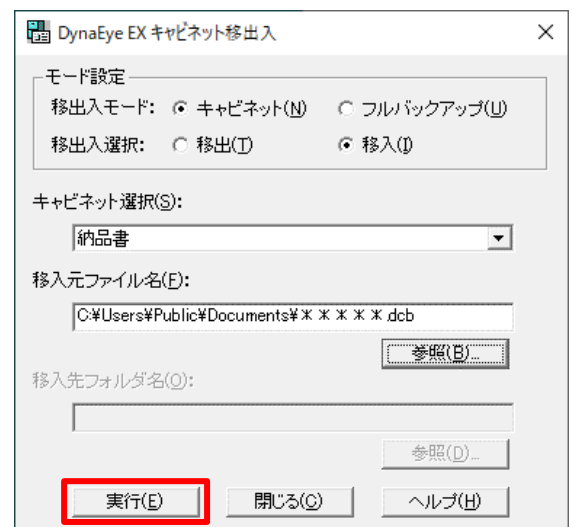


⇒ キャビネット移出入が表示されます。

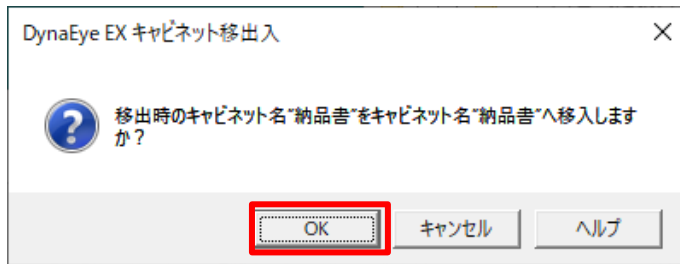
- ③ 以下のように設定し、[実行]ボタンを選択します。

＜モード設定＞

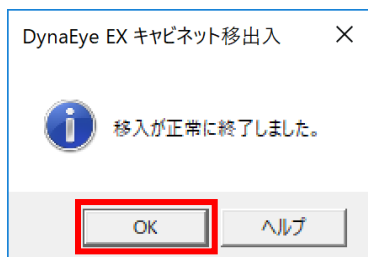
- ・ 移出入モード： キャビネット
- ・ 移出入選択 ： 移入
- ・ キャビネット選択： 「(1)キャビネット作成」
で作成したキャビネット
- ・ 移入元ファイル名：
サンプル定義の【(2)書式定義ファイル】
フォルダ内のファイルを選択



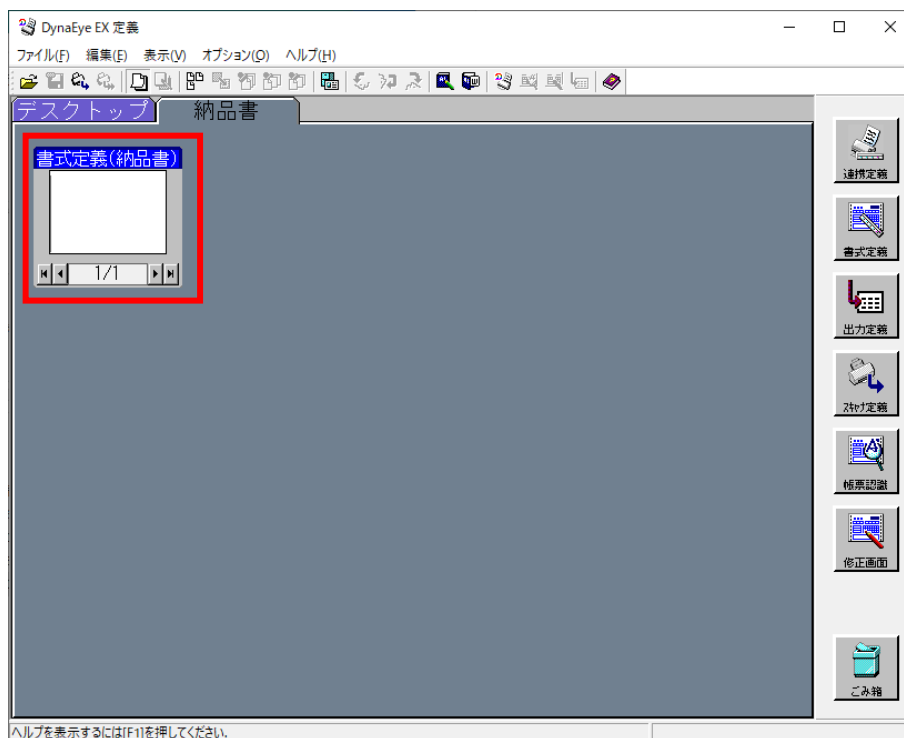
- ④ [OK]ボタンを選択します。



- ⑤ [OK]ボタンを選択します。

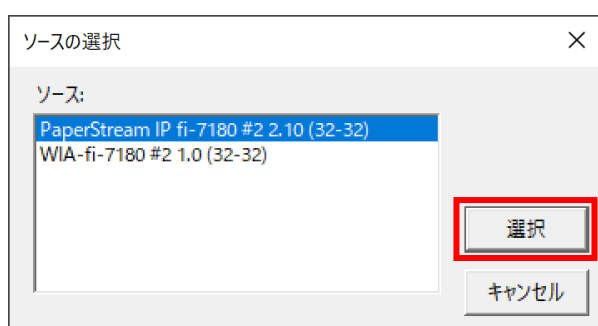


- ⑥ キャビネット移出入の[閉じる]ボタンを選択し、キャビネット移出入を終了します。
- ⑦ DynaEye 10 標準アプリケーションの定義画面を起動し、(1)で作成したキャビネットに「書式定義」が追加されたことを確認します。
(画像はサンプルであり、対応する帳票によってタイトルや画像は異なります。)




4.3 スキャナ接続

- ① PC とスキャナを接続し、スキャナの電源を入れます。
※ PC とスキャナの接続方法はスキャナのマニュアルを参照してください。
- ② DynaEye 10 標準アプリケーションの定義画面で、[ファイル]-[スキャナ選択]を選択します。
- ③ ソースの選択ダイアログが表示されるので、ソースから「PaperStream IP xxx」を選択し、[選択]ボタンを選択します。
※ 「xxx」部分は接続するスキャナの機種によって異なります。



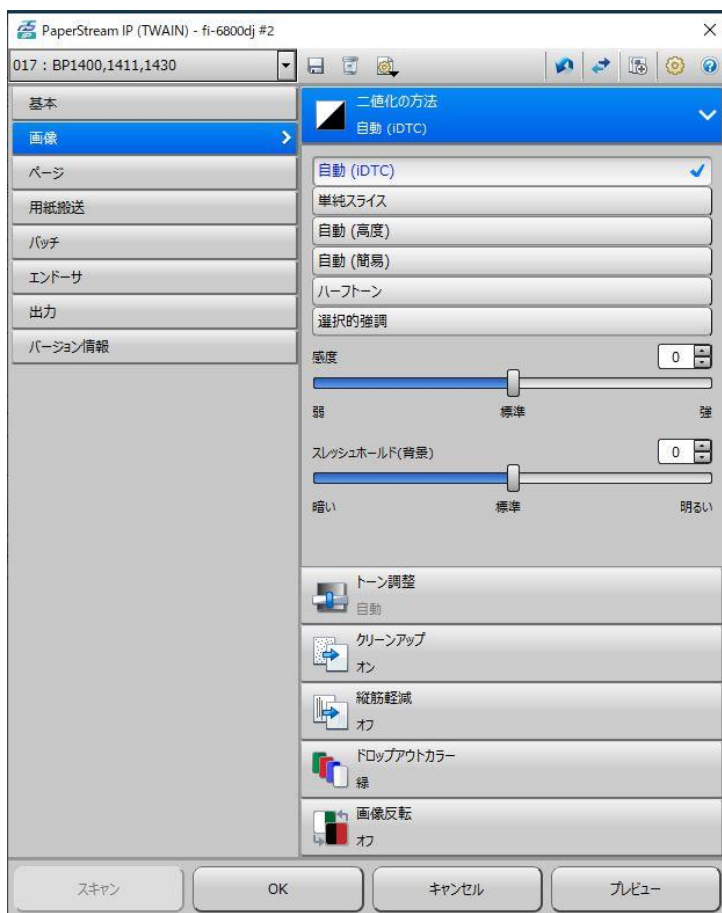
4.4 スキャナ定義

- ① DynaEye 10 標準アプリケーションの定義画面で、[ファイル]-[スキャナ定義]を選択します。
- ② スキャナ定義画面が表示されるので、[TWAIN 画面を表示する]にチェックし、[OK]ボタンを選択します。

- ③ [ファイル]-[スキャナ読み取り]-[新規]を選択し、PaperStream IP の設定画面を表示します。
- ④  のアイコンをクリックし、PaperStream IP の詳細設定画面を表示します。
- ⑤ 帳票の型番に応じて、以下の設定を行います。

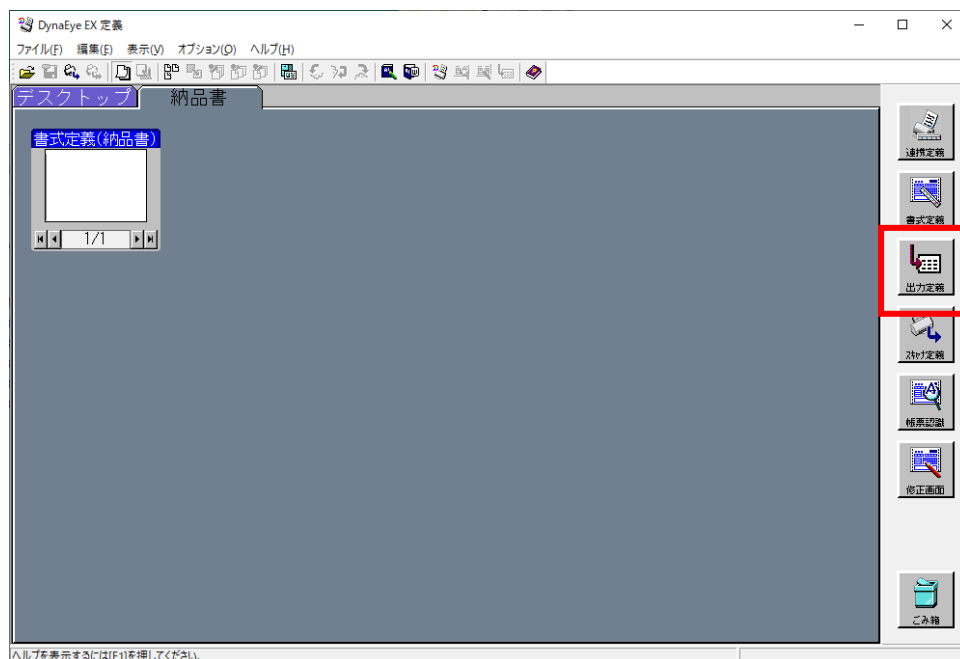
型番	二値化の方法	パラメータ
BS0601K, BS619T, BS634T, BS635K, BS635T, HSG1, HSG2, HSG3	自動 (iDTC)	感度 : 0 スレッシュホールド (背景) : 0
BS0703	自動 (iDTC)	感度 : - 1 0 スレッシュホールド (背景) : 0 [画像]-[クリーンアップ] ごみ取り指定 : 3

- ⑥ [OK]ボタンを押して保存し処理を続行します。スキャナーに給紙が無ければその旨通知されます。

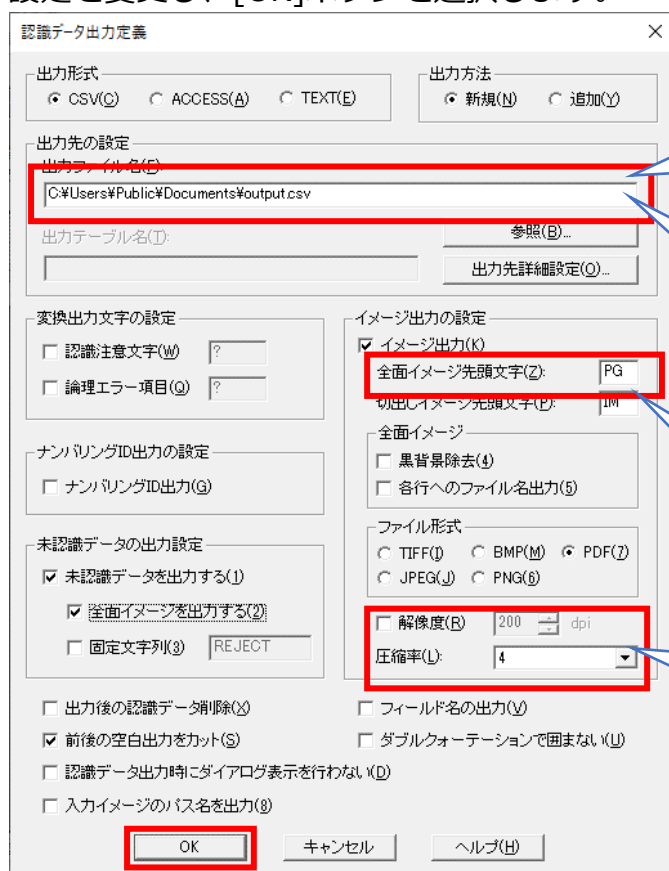


4.5 出力定義の変更

- ① DynaEye 10 標準アプリケーションの定義画面で、[出力定義]ボタンを選択します。



- ② 設定を変更し、[OK]ボタンを選択します。



出力先 (CSV,PDF 共通)
「出力ファイル名」のパスを
任意のフォルダに変更。

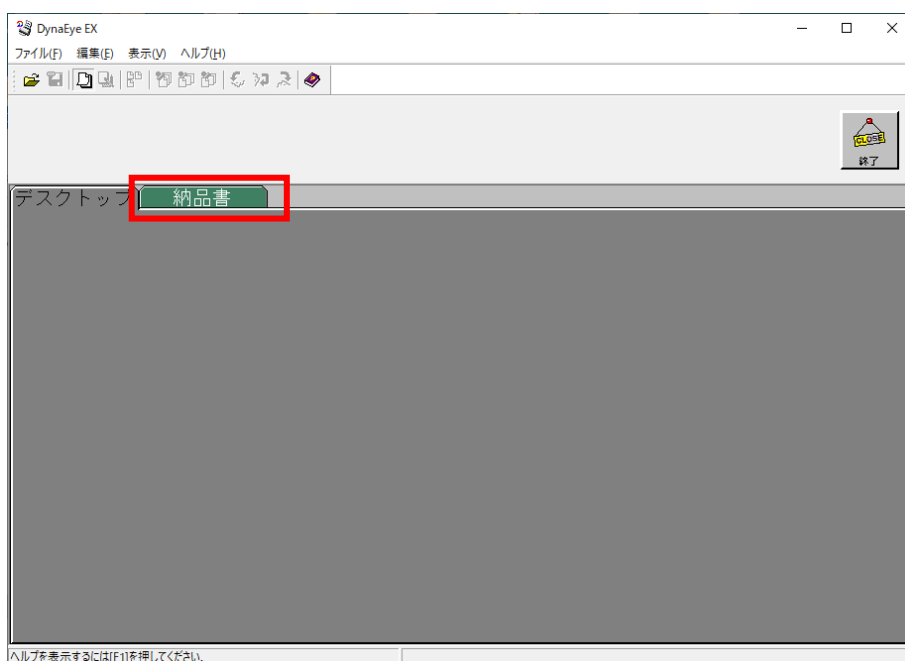
CSV ファイル名
「出力ファイル名」のファイル
名を任意のファイル名に変更。

PDF ファイル名 (先頭文字)
「全面イメージ先頭文字」を
任意の文字に変更。(2 文字)

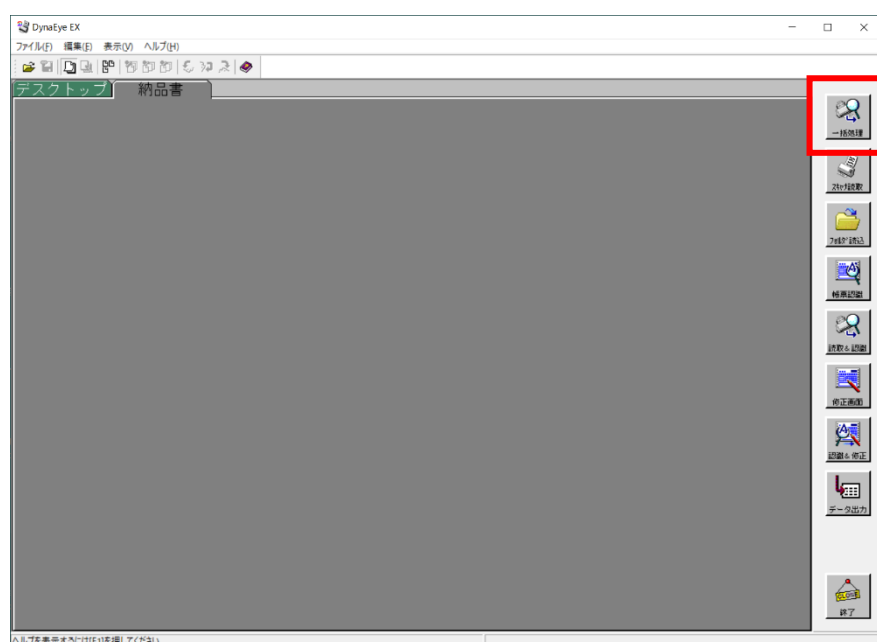
イメージ品質
出力するイメージファイルの解
像度と圧縮率を指定。

5. 動作確認

- ① スタートメニューから、[DynaEye 10 標準アプリケーション]-[運用画面] を選択します。
⇒ DynaEye 10 標準アプリケーションの運用画面が表示されます。
- ② 「4.2 定義セットの取り込み」で作成したキャビネット名のタブを選択し、キャビネットを切り替えます。

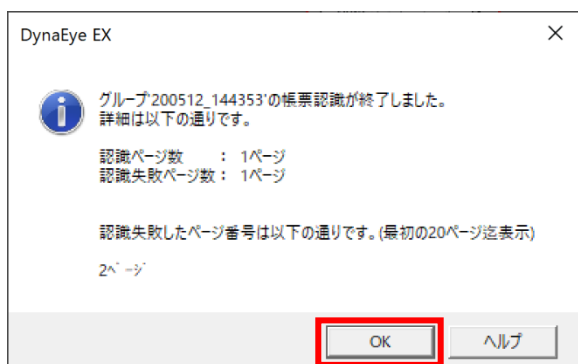


- ③ スキャナに帳票をセットします。
- ④ [一括処理]ボタンを選択します。



⇒ スキャナ読取が始まり、続けて帳票認識が行われます。

⑤ [OK]ボタンを選択します。



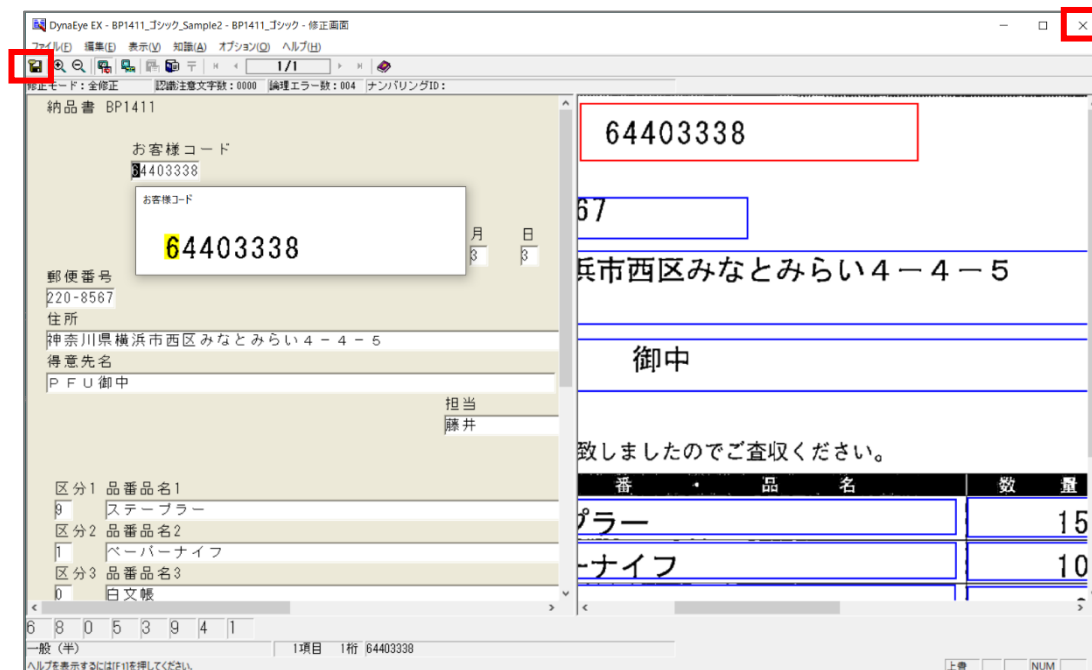
※ 書式定義と異なる帳票は、認識失敗ページとしてカウントされます。

⇒ 修正画面が表示されます。

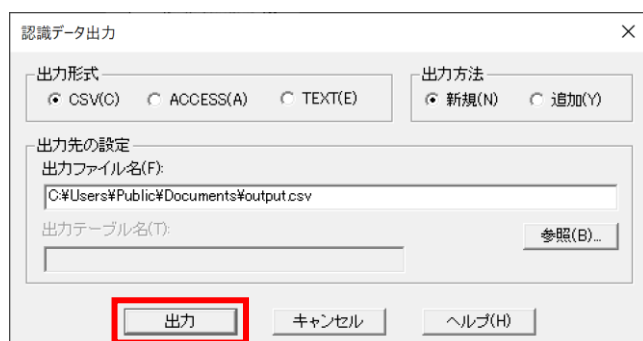
⑥ 確認・修正を行い、上書き保存します。

すべてのページで確認・修正を行い、完了後、修正画面を終了します。

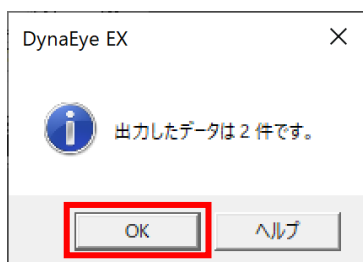
(画像はサンプルであり、対応する帳票によって画面は異なります。)



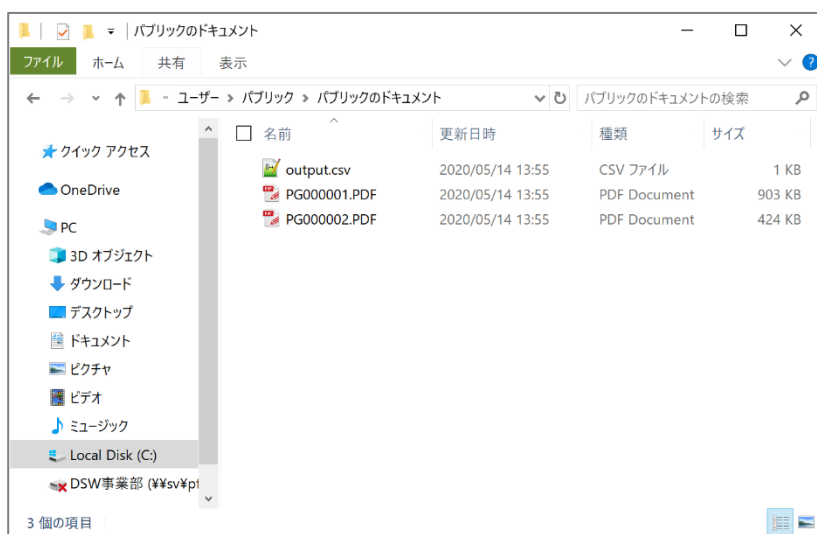
⑦ 認識データ出力ダイアログが表示されるので、[出力]ボタンを選択します。



- ⑧ [OK]ボタンを選択します。



- ⑨ エクスプローラーで出力先フォルダを開き、データが出力されていることを確認します。



— 以上 —